

プログラム責任者  
からのメッセージ産科婦人科  
教授 前田 長正

高知大学医学部附属病院産科婦人科は、基幹病院として周産期・婦人科腫瘍・生殖・女性ヘルスケアで県の中核病院であり、高い質の医療の提供や臨床試験・治験への参加も積極的に行っています。連携施設には県の総合中核病院、分娩に特化した診療施設、地域医療を支える総合中核病院を備えています。まずは産婦人科専門医を取得する研修計画を立てていますが、取得後の周産期・生殖内分泌・婦人科腫瘍などのサブスペシャリティ専門医取得も視野に入れた研修計画を作成しています。さらに大学院進学を積極的に支援し、とくにトランスレーショナルリサーチに重点を置いて研究を行っています。このプログラムによるステップアップにより、地域から日本そして世界に貢献する産婦人科医となるよう共に研鑽しましょう。

## プログラムの特色

高知大学病院産科婦人科を基幹施設とし、県内外の連携施設と研修施設群を形成しています。連携施設は、分娩の多い施設や県・地域の中核病院で構成しています。各々専門的で特徴的な診療を行っており、施設群をローテートすることで充実した医療を経験できるよう計画しています。そして、周産期・生殖医療・腫瘍・女性ヘルスケア領域全てで高い質の医療を提供できる専門医の育成を目指します。指導医も施設間で連携し、医療レベルの向上を図り専攻医に高い質の研修を提供します。

## 連携施設名等

|      | 施設名             | 指導医名         | 外来患者数<br>(1ヶ月平均/人) | 病床数 | 分娩数<br>(1ヶ月平均) |
|------|-----------------|--------------|--------------------|-----|----------------|
| 基幹施設 | 高知大学医学部附属病院     | 前田 長正 教授 他3名 | 1,300              | 40  | 24             |
| 連携施設 | 高知医療センター        | 林 和俊 副院長 他6名 | 1,610              | 43  | 63             |
|      | 高知県立幡多けんみん病院    | 濱田 史昌 医長     | 327                | 30  | 33             |
|      | 高知県立あき総合病院      | 池上 信夫 副院長    | 90                 | 45  | 8              |
|      | こにしクリニック        |              | 2,378              | 16  | 12             |
|      | 高知ファミリークリニック    |              | 932                | 19  | 36             |
|      | JA高知病院          | 川島 将彰 医長     | 365                | 24  | 24             |
|      | 松岡病院産科・婦人科(福山市) |              | 1,420              | 51  | 36             |

## 取得可能専門医

## 産婦人科専門医

- 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医
- 日本超音波医学会 超音波専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- 日本人類遺伝学会
- 日本遺伝カウンセリング学会

臨床遺伝専門医

専門医取得までの  
タイムスケジュール

専攻医研修3年間は、以下の要領で行う。

- (1) 基幹施設及び連携施設の施設群の中で研修を行う。  
この施設群の中で、4領域(生殖内分泌・婦人科腫瘍・周産期・女性のヘルスケア)について研修する。
- (2) 基幹施設での研修期間…6ヶ月以上24ヶ月未満  
連携施設での研修期間…24ヶ月未満
- (3) (1) で述べた4領域について、定期的にプログラムの履修状況を入力しプログラム責任者がこれをチェックする。
- (4) 基本的には、以上の専攻医研修3年で研修を修了し6年目に専門医試験を受験する。

## 指導医の声

講師  
牛若 昂志

産婦人科には、周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアと大きく4つのサブスペシャリティ分野があります。周産期が最も特徴的な分野ですが、入院の患者さんの半分は婦人科腫瘍の患者さんで、外来の半数はヘルスケアと不妊内分泌の患者さんです。

当科の特徴は、産婦人科指導医を持った各サブスペシャリティの専門医が在籍していることです。産婦人科を専攻された先生は専門医取得まで各分野の最先端の知識をまんべんなく勉強することができます。また、その研修の中で将来の自分に合った分野を選ぶ事ができます。4つのサブスペシャリティ分野のダブルライセンスの取得も目指す事ができます。

サブスペシャリティの専門医のほかに、内視鏡技術認定医、ロボット手術専門医、遺伝性腫瘍専門医、臨床遺伝専門医、超音波専門医など多くの資格を取得することができます。

産婦人科の特徴は、専門医取得後に働き方の幅が広いことです。働き方に応じて専門分野を変更することも可能です。ライフステージに応じて自分に合ったキャリアを選択できるようサポートしていきます。

## 先輩の声

医員(指導医)  
大黒 太陽

3年間の専攻医期間後に産婦人科専門医を取得しました。現在は周産期を専門としています。高知大学は各種サブスペシャリティ領域の研修も可能であり、私は周産期専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、女性ヘルスケア専門医取得を目指しています。今後は国立成育医療研究センターでの修練を予定しており、将来は、周産期、産科麻酔、臨床遺伝の専門家として高知の周産期医療に貢献していきたいです。

高知大学産科婦人科学講座の魅力としては、豊富な症例数、チーム医療による働き方改善と教育体制の整備、科内・病棟スタッフとの関係の良さがあります。一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



胎児エコー



①②婦人科腫瘍ロボット手術



問い合わせ先

■教室名/産科婦人科学  
■担当者名/前田 長正  
マエダ ナガマサ

■電話/088-880-2383  
■メール/im34@kochi-u.ac.jp